

吹付け用ポリマーセメントモルタル

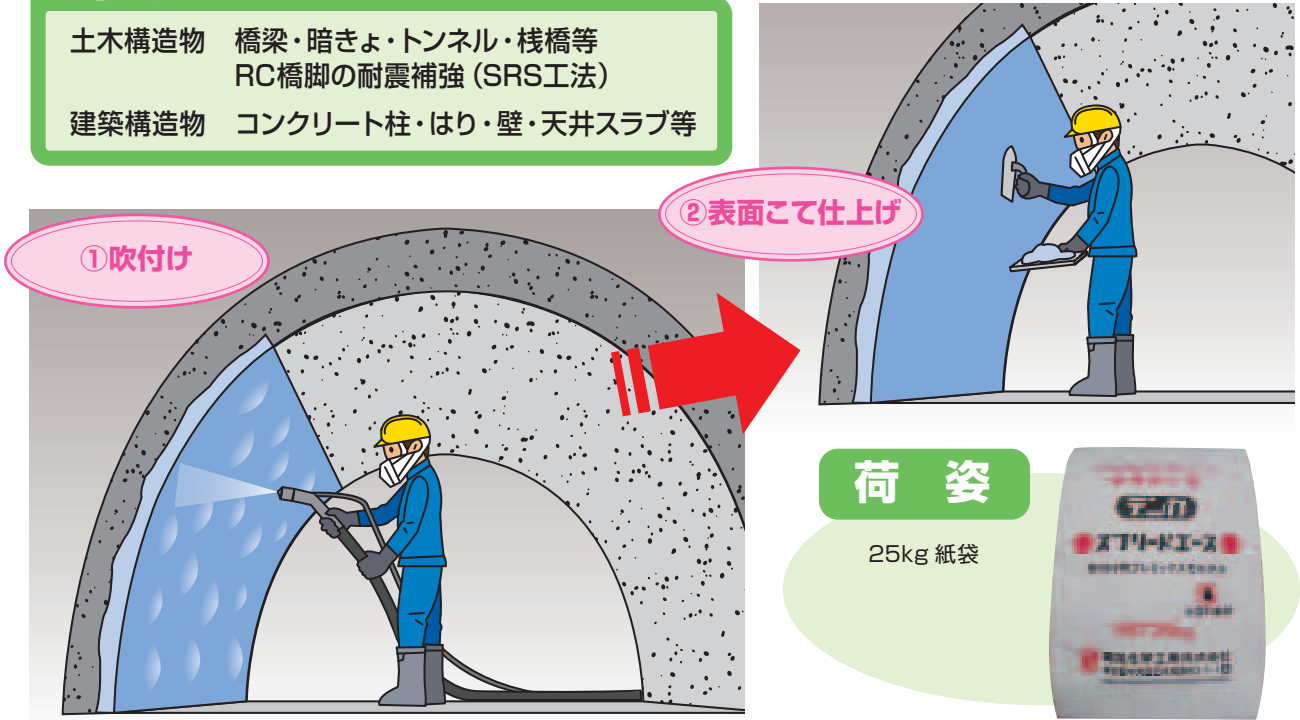
# デンカスプリードエース

適合規格：NETIS（国土交通省新技術情報提供システム）登録番号「HR-030033」  
NEXCO 構造物施工管理要領表-3-5-4モルタル工の断面修復材の品質規格「JHS432」  
JR西日本「コンクリート構造物補修の手引き断面修復材の基本規格値」

高性能 大断面修復材・無機系ライニング材 一般プレミックスタイプ（1材）

## 用途

- 土木構造物 橋梁・暗きょ・トンネル・栈橋等  
RC橋脚の耐震補強（SRS工法）
- 建築構造物 コンクリート柱・はり・壁・天井スラブ等



①吹付け

②表面こて仕上げ

荷姿

25kg 紙袋

## 特徴

- ポリアクリル酸エステル（PAE）系粉末ポリマー混入タイプ
- 樹脂ファイバー（PVA繊維）混入タイプ
- 湿式吹付け工法で高い密着性と厚吹きを実現
- リバウンドが少なく、材料ロスも抑えられ、高い経済性
- 容易で効率的な施工が行なえる1材のプレミックスタイプ  
（所定量の水のみを加え練り混ぜるだけで使用可能）
- 吹付け施工時のポンプ圧送性が良好
- 収縮が少なく、優れたひび割れ抵抗性
- 耐中性化、水密性に優れ、長期耐久性に期待

## 配合

標準配合

	スプリードエース	水
1袋あたり	25kgの場合	3.4kg
1㎡あたり	1,775kg	238kg

※1袋の練り上がり量 25kg袋＝約14ℓ

使用量

1㎡に対して塗り厚10mmで、スプリードエースを17.8kg使用します。

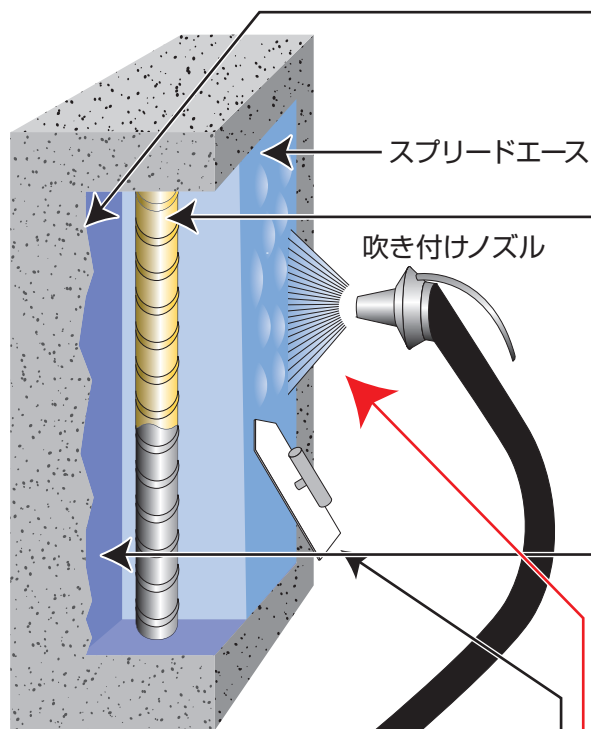
## 物性値（1例） 試験方法「JHS432」

項目	測定値
ひび割れ抵抗性	ひび割れは発生せず
コンクリートとの付着性	平均値2.3N/mm <sup>2</sup> 最低値2.1N/mm <sup>2</sup>
鉄筋背面への充填性	空隙の合計長0mm
寸法安定性（長さ変化率）	0.045%
熱膨張性	0.91×10 <sup>-5</sup> /℃

項目	測定値
中性化抵抗性	普通コンクリートの1/5
凍結融解抵抗性	負荷後の相対動弾性係数99% 負荷後の付着強度1.8N/mm <sup>2</sup>
遮塩性	2.33×10 <sup>-4</sup> cm <sup>2</sup> /day
圧縮強度	42.9N/mm <sup>2</sup> （材齢28日）
静弾性係数	1.98×10 <sup>4</sup> N/mm <sup>2</sup>

※その他ラインアップ豊富：早強タイプ（ラピッドエース）、コテ塗りタイプ（RIS321エース）、グラウト注入タイプ（スプリードGV）など

## 施工手順



### 1 コンクリート前処理

カッター切



### 2 鉄筋防錆処理

錆び落とし (鉄筋)  
防錆処理 (RIS111防錆ペースト)

防錆ペースト配合

	セメント	RIS111	RIS211E	合計
重量比	100	40	11	
セメント1kg に対して配合量	1,000g	400g	110g	1,510g ※約2m <sup>2</sup> /分

※使用量 鉄筋1m<sup>2</sup>当たり600~900g



### 3 プライマー処理

プライマー塗布 (RIS211E)

プライマー配合	RIS211E	水	合計
重量比	100	200	
1m <sup>2</sup> 当たりの配合量	50g	100g	150g (3倍希釈)



### 4 練混ぜ

左官ミキサーもしくは  
ハンドミキサーにて練混ぜる。

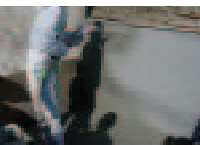
【練混ぜ時間の目安】

左官ミキサー：5~6分  
ハンドミキサー：2分程度



### 5 吹付け

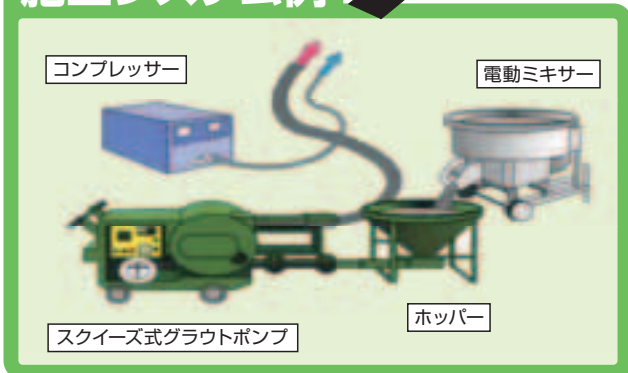
スプリードエース



### 6 表面こて仕上げ



## 施工システム例



### 7 養生

モルタルが急激に乾燥しないよう、シート養生等を施す。  
モルタル硬化後は養生剤 (RIS211E、RIS フルコート) を塗布する。

※詳細は施工要領書を参考にしてください。

# DENKA

DENKI KAGAKU KOGYO KABUSHIKI KAISHA



**警告**



●水や汗・涙等の水分と接触すると強いアルカリ性になり、皮膚、目、呼吸器等を刺激したり、粘膜に炎症を起こします。●目に入れないこと。●入った場合は、直ちによく洗浄し、専門医の診断を受けること。●皮膚に付けないこと。●鼻や口に入れないこと。●保護メガネ、防塵マスク、ゴム手袋を着用すること。●子供に触れさせないこと。

#### 【使用上の注意】

- スプリードエースに他のセメント、砂、混和材 ( 剤 ) 等を加えないでください。
- 使用水量は材料温度、環境温度、ミキサの形式、練り量などにより変化します。使用前に試し練りで適正水量を確認してください。
- 乾燥した冷暗所で保管してください。開封後は直ちに使用してください。

#### 【データ等記載内容についてのご注意】

- 本書記載のデータ等記載内容は、代表的な実験値や調査に基づくもので、その記載内容についていかなる保証をなすものではありません。
- ご使用に際しては、必ず貴社にて事前にテストを行い、使用目的に適合するかどうかおよび安全性については、貴社の責任においてご確認ください。
- 本書記載の当社製品およびこれらを使用した製品を廃棄する場合は、法令に従って廃棄してください。
- ご使用になる前に、詳しい使用方法や注意事項等を技術資料・製品安全データシートで確認してください。これらの資料は、当社の担当部門にご用意しておりますので、お申し付けください。
- 本書の記載内容は、新しい知見により断りなく変更する場合がありますので、ご了承ください。